

3号機 使用済燃料プール内の制御棒等 高線量機器取り出し作業の開始について

2023年4月14日

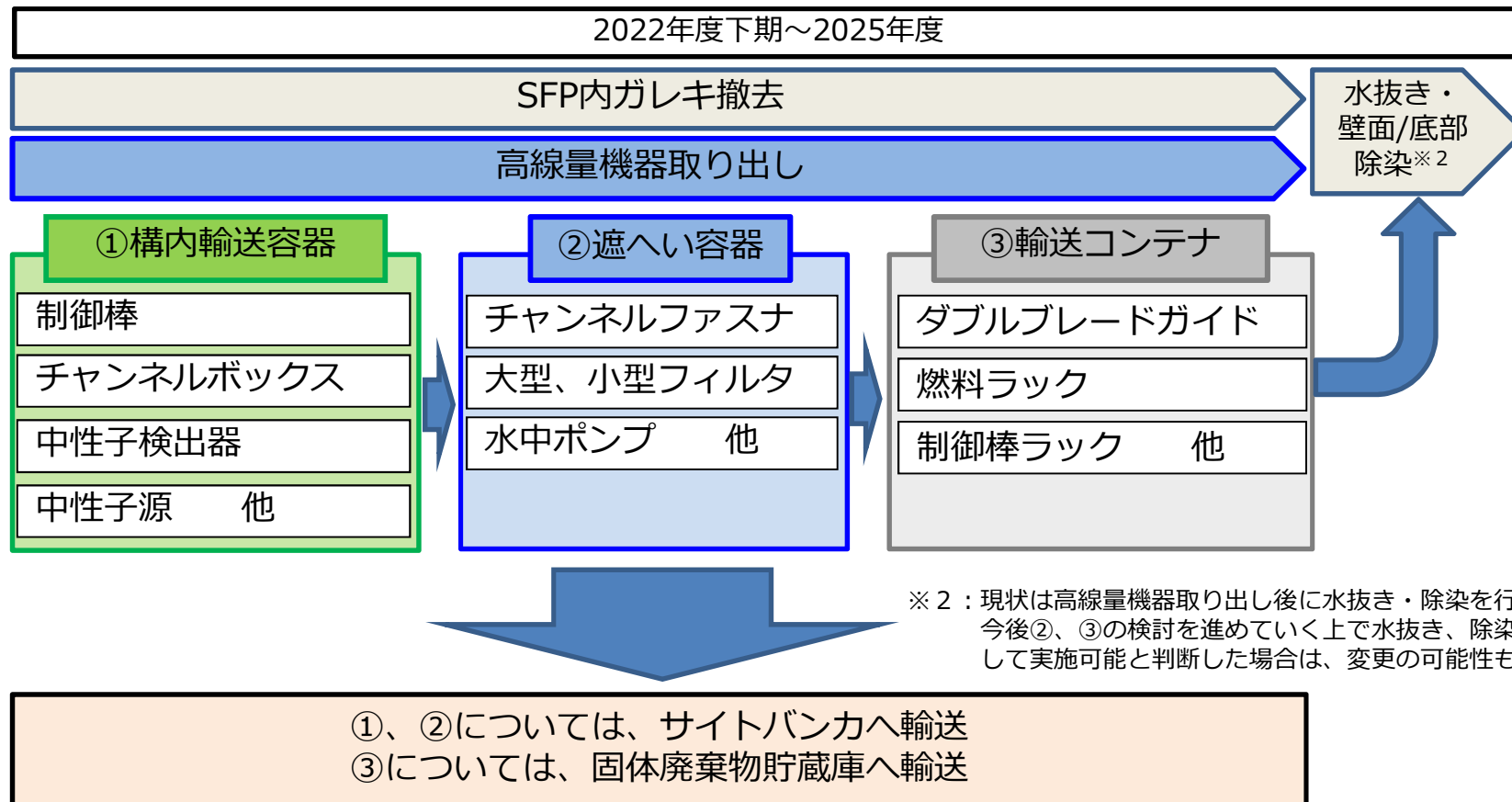
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 3号機高線量機器※¹取り出し計画について

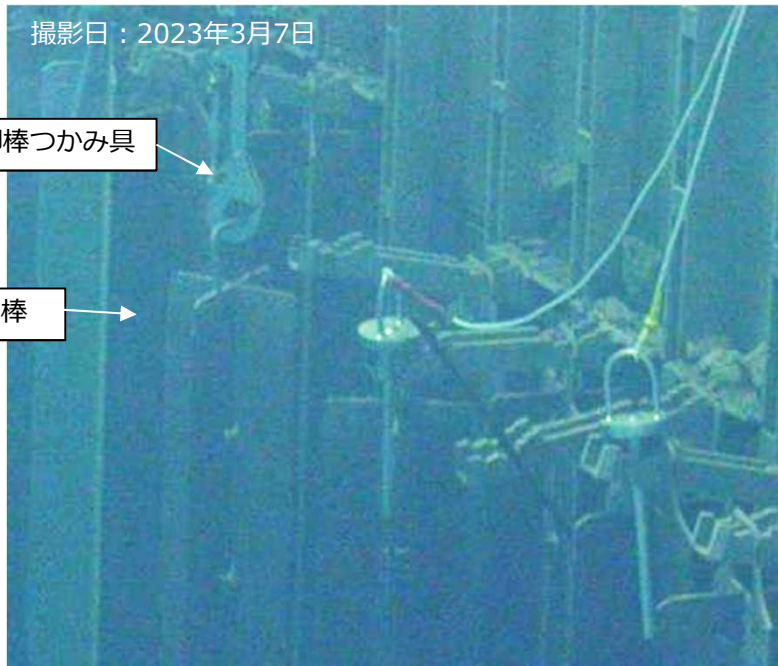
- 3号機 使用済燃料プール（以下、SFP）に貯蔵している制御棒等の高線量機器の取り出しを2022年度下期より開始する計画としており、2023年3月7日より作業を開始。
- 高線量機器の取り出しは、プール内のガレキの状況や機器の配置状況を踏まえ、制御棒の取り出しから開始する計画であり、3号機燃料取り出しに使用した構内輸送容器等を使用して既設サイトバンカや固体廃棄物貯蔵庫へ輸送、保管する計画。作業は下図の「①構内輸送容器」「②遮へい容器」「③輸送コンテナ」の順で実施する計画。

※1：高線量機器とは、SFP内に保管されている種々の物品を指す。



2. 3号機高線量機器取り出し実績

- 2023年3月7日より、3号機使用済燃料プール内にある使用済制御棒（2本）の取り出しを開始。
- 制御棒は構内輸送容器への装填後、サイトバンカへ移送を行い、3月17日にサイトバンカプール内のラックへ収納を実施。
- 作業に伴うモニタ類の有意な変動はなく、作業員の被ばく線量も計画範囲内であった。



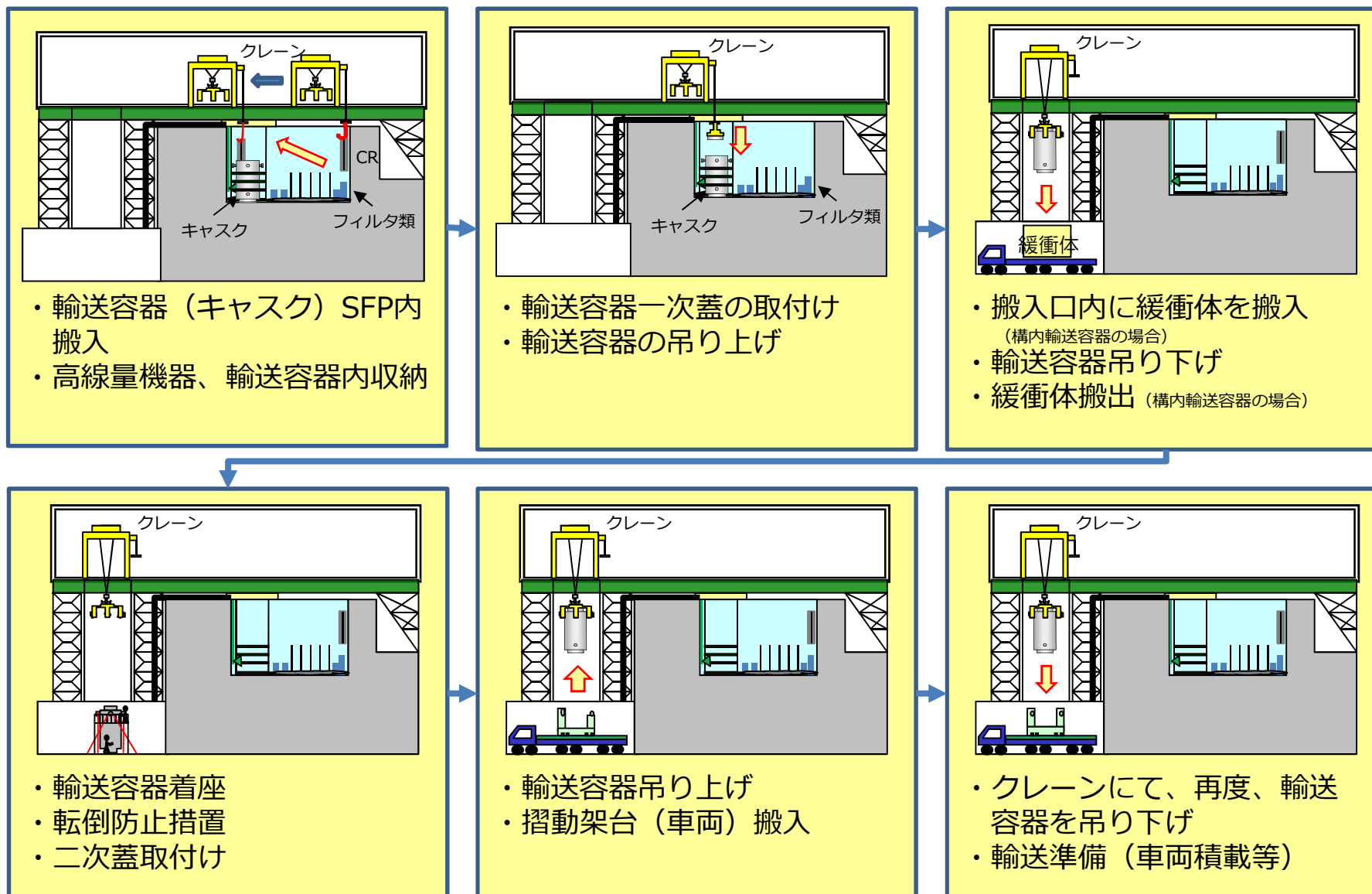
制御棒移動（1本目）



サイトバンカラックへの収納

【参考】作業概要（3号機）

- 3号機内作業は、高線量機器の取り扱い以外は、燃料取り出し時と同じ手順で実施。



【参考】作業概要（サイトバンカ）

- サイトバンカ内作業は、低線量エリアであることから、有人にて実施。

